

# 「腹膜透析患者のグリコアルブミンおよびグリコヘモグロ ビンの予後予測における有用性の検討」に対するご協力の お願い

研究責任者 畔上 達彦  
研究機関名 慶應義塾大学医学部  
(所属) 腎臓内分泌代謝内科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

西暦 2007 年 12 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの間に、腹膜透析(PD)を開始した患者。

## 2 研究課題名

承認番号 20241200

研究課題名 腹膜透析患者のグリコアルブミンおよびグリコヘモグロビンの予後予測における有用性の検討

## 3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学病院

研究責任者

(職位) 専任講師 (氏名) 畔上 達彦

## 4 本研究の目的、方法

腹膜透析(PD)患者において、血液透析(HD)への移行を含めた予後を予測することは臨床上重要ですが、予後予測の指標はいまだ確立されていません。

そこで、我々はグリコアルブミン(GA)とグリコヘモグロビン(HbA1c)に注目しました。GA は、血液中のアルブミンがブドウ糖と結合し、糖化された蛋白質であり、HbA1c は血液中のヘモグロビ

ンがブドウ糖と結合し、糖化された蛋白質です。GA と HbA1c はどちらも血糖管理の指標として用いられますが、アルブミンの半減期(17 日)が赤血球寿命(120 日)よりも短いために、GA は HbA1c よりも短期の血糖管理の指標とされています。一方で、腎不全患者など貧血があり赤血球寿命が短い患者においては、HbA1c よりも GA や GA/HbA1c 比が予後を反映する指標として優れていることが報告されています。PD 患者においても GA、HbA1c、GA/HbA1c 比が HD への移行を含む予後と関連するかどうかを解析させていただきます。具体的には、HD への移行、死亡・移植・腎機能回復に伴う腹膜透析の終了、腹膜炎発症、心不全による入院、外科的介入を要する出口部トンネル感染などを評価させていただきます。

## 5 協力をお願いする内容

当院で PD を開始した方のデータを使用し、GA、HbA1c、GA/HbA1c 比の有効性を評価するための解析を行わせていただきます。冒頭に述べました通り、新たなサンプルの取得は一切ございません。

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 12 月 1 日

## 7 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

実施施設 慶應義塾大学病院 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

研究分担者：満野竜ノ介 腎臓内分泌代謝内科

連絡先：03-5363-3796

FAX：03-3359-2745

E-mail: rmitsuno@keio.jp

なお、お電話でのご連絡は可能な限り診療時間中[月曜日～金曜日および第 2・4・5 週の土曜日(ただし祝日は除く)、午前 8 時 40 分から午後 4 時 30 分]にお願いいたします。

以上